

西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ②⑩ ～集落営農組織紹介～

～共同栽培で遊休農地を有効活用～



水稻栽培管理基準田の設置



園芸品目の導入



センチピードグラスによる
畦畔管理



大西孝敏 組合長

きじお
三豊市財田町財田上 雉子尾営農組合

雉子尾営農組合（組合員26名）は、財田上の雉子尾及び久保の下地区において、より地域に密着した形で活動するため、平成31年1月18日に設立されました。

当組合は「できることからコツコツと」を信条に活動しており、水稻の栽培管理基準田の設置による栽培技術の高位平準化や、近隣の取組組織から栽培管理の情報提供を得ながらの遊休農地を活用した園芸品目の導入、畦畔管理の負担軽減に向けた法面へのセンチピードグラスの試験導入等に取り組んでいます。

現在、組合員は70代以上が過半数を占めており、高齢化により農作業が困難となる将来を見越して、農地の利用調整や農業機械の有効利用の仕組みづくりについて、活動を通して検討を行っています。

代表の大西組合長は、「組織としてはできたばかりだが、できることから実現していき、1枚でも多く遊んでいる農地をなくしていきたい。センチピードグラスによって畦畔の雑草管理の手間が減ることを実感できたので、まずはセンチピードグラスから地域に普及していきたい。」と今後の抱負を語っていただきました。

損益分岐点分析で利益計画を検討してみましょう

● 損益分岐点売上高とは

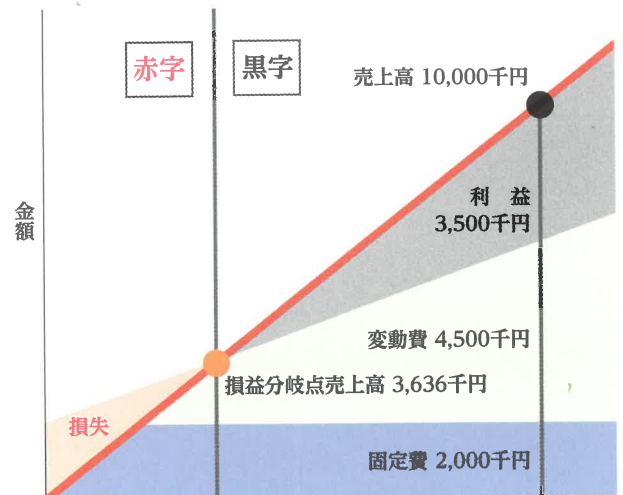
損益分岐点売上高は、利益も損失もない売上高のことで、利益計画に使われます。今回は単純化したモデル経営体で紹介します。

損益分岐点分析では「売上高」と、経費を売上高が増減すると一緒に増減する「変動費」、売上高と関係なく発生する「固定費」に分けて分析します。

モデル経営体の経営状況

売上高	10,000 千円
変動費	5,500 千円
固定費	2,000 千円
農業所得	3,500 千円

モデル経営体の利益図表



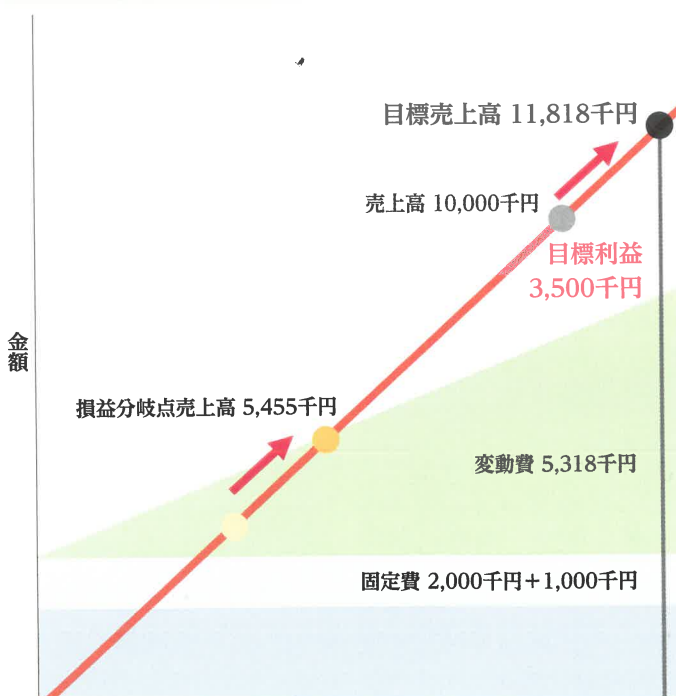
$$\text{損益分岐点売上高} = \text{固定費} \div (1 - \text{変動比率}(\text{変動費} \div \text{売上高}))$$

● 農業機械を購入して固定費が増加した場合

モデル経営体が農業機械（7,000千円）を購入し、固定費（年間の減価償却費）が1,000千円増加した場合、損益分岐点売上高は5,455千円になります。

また、投資前の農業所得を確保するためには、売上高を約11,818千円確保する必要があります。さらに、変動費も増加するので当面の資金繰りも併せて検討する必要があります。

モデル経営体の利益図表



● 経営の安全性を見る指標

損益分岐点分析を応用して、経営の安全性を見る指標の一つに経営安全率があり、値が高いほど安全性は高くなります。

$$\text{経営安全率} = (1 - \text{損益分岐点売上高} \div \text{売上高}) \times 100$$

モデル経営体では、投資前の経営安全率が63.6%でしたが、投資後の売上高が10,000千円の場合、経営安全率は45.5%となります。

安全性の向上のためには、売上高の増加のほか、損益分岐点売上高の引き下げも有効です。固定費の引き下げ、変動比率の引き下げ、売価の引き上げを検討してみましょう。

損益分岐点売上高の引き下げ方法

● 固定費の引き下げ

- 例 雇用労賃の削減
減価償却費の削減
支払い利息の低減 など

● 変動比率の引き下げ

- 例 原材料の在庫管理によるロスの削減
適期作業による収穫ロスの低減 など

● 販売単価の引き上げ

- 例 秀品率の引き上げ など

市場ニーズに適応した品質の輪ギク生産に向けて

豊南地区花卉部会では、市場のニーズに適応した高品質な輪ギク生産に取り組んでいます。普及センターでは、品質向上技術のひとつとして、全国的に導入されつつある輪ギクの炭酸ガスの施用方法とその効果について調査を行っています。

炭酸ガスの施用方法

輪ギクの炭酸ガス施用方法は灯油による燃焼式が主流ですが、今回、日中サイド換気をしている春～秋期での利用を想定した液化炭酸ガス施用方式を検討しました。

施用に用いる点滴チューブは液化炭酸ガスの効率的な施用と使用量削減を目的にフラワーネットの上段に設置し、常に生長点付近で炭酸ガス濃度が高まるよう工夫しました。（右写真）



液化炭酸ガス施用システムの設置状況



ネット上 地表部 ネット上 地表部
真上から 斜め手前から

炭酸ガス施用位置が葉の形態に及ぼす影響

効果と今後の課題

春彼岸及び盆出荷作型で調査を行った結果、液化炭酸ガスを生長点付近（フラワーネット上段）で施用することによって、地表部で施用するより葉のボリュームが向上し、切り花重の増加に繋がることがわかりました。（左写真）

しかし、液化炭酸ガス施用方式はランニングコストが高いことがデメリットであるため、今後はコスト削減を目指し、施用する時間帯や施用目標設定濃度などの調査を行うことにしています。

Facebookページを紹介します！～三豊花卉部会～

新型コロナウイルスの影響で、需要が減少している花きの消費拡大を図るため、生産者、JA三豊地区営農センター、普及センターが連携し、三豊花卉部会のFacebookページを立ち上げました。

随時、産地の栽培状況等を投稿して行きますので、是非ご覧ください。

<https://m.facebook.com/mitoyokaki>

アクセスはこちらから→



三豊花卉部会

4月30日 17:36

こんにちは三豊花卉部会です。大輪アスターの出荷が始まりました！三豊花卉部会では約10品種を栽培しており、5月から12月頃まで出荷しています。これから夏に向けて出荷が増えていきます🌸

写真は、1月上旬に定植した現在の圃場でのものと昨年のなにわ花まつりでのものです！

花径が5～7cmとボリュームのあるアスターです🌸

#アスター #マッシュシリーズ #ボブシリーズ #父母ヶ浜 #紫雲出山 #三豊市 #香川県 #うどん県 #ピタミンF #三豊花卉部会

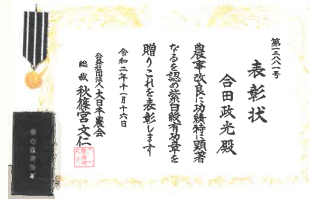


令和2年度大日本農会農事功績者表彰 受章おめでとうございます!

(公社)大日本農会主催の「令和2年度農事功績者表彰事業」で観音寺市の合田政光様(肥育牛・野菜作経営)が「紫白綬有功章」を受章(全国で3名)されました。

合田様は、平成22年の緑白綬有功章受章後の10年間において、「オリーブ牛」を県内全域に広めるため、丁寧で情熱的な説得に奔走されるなど県産ブランド牛の振興に精力的に取り組まれました。その功績が特に顕著であると認められ、この度、大日本農会総裁の秋篠宮皇嗣殿下より表彰されることになりました。

今後の御活躍を祈念いたします。



※本年の表彰式については、新型コロナウイルス感染症の拡大が未だ終息が見られない状況のため中止となりました。

第84回香川県畜産共進会受賞おめでとうございます!

第3部 肉豚の部

農林水産大臣賞・知事賞

堀口 友彦 様 (観音寺市大野原町)



堀口 友彦 様

農林水産省生産局長賞

細川 のぶ子 様 (三豊市財田町)

第4部 肉牛の部

農林水産大臣賞・知事賞

合田 政光 様 (観音寺市八幡町)



合田 政光 様

共進会長賞・知事賞

宮崎 哲男 様 (観音寺市高屋町)

笠田高校生が先進農家で現場実習を行いました!

令和2年11月5日、三豊農業教育振興会(事務局:笠田高校)と連携し、笠田高校の2年生87名を対象に管内の先進農家の農場で現場実習を行いました。

この取組みは、高校生に地域農業への理解を深め、農家の現状や栽培技術等を肌で感じてもらうとともに、受入農家には地域の農業振興のために産地の後継者育成について認識を持ってもらうことを目的としています。

当日は、先進農家13戸(野菜、果樹、花き、畜産)に分かれて1日農作業を体験しました。受入農家からは、「学生への指導を行うことにより、改めて作業確認ができ、自社の作業を見直せている。」等の意見をいただきました。



レタス収穫体験の様子